

平成17年木材（用材）需給見通しの概要

製材用の需要については、平成17年の新設住宅着工戸数が住宅ローン減税に係る駆け込み需要の減少等により前年をやや下回るものと見込まれることなどから、前年比3.9%減になるものと見通される。

合板用の需要については、国内製造向けに国産材丸太の需要増加が見込まれるものの、新設住宅着工戸数が前年をやや下回るものと見込まれることなどから、全体では前年比3.8%減になるものと見通される。

パルプ・チップ用の需要については、紙・板紙生産量が前年より若干増加するものと見込まれることなどから、前年比0.3%増になるものと見通される。

その他用（集成材等）の需要については、構造用集成材に対する需要増加が見込まれることなどから、前年比5.7%増になるものと見通される。

この結果、総需要量は前年を下回る8,840万 m^3 程度（前年見込み比1.8%減）になるものと見通される。

なお、供給面では国産材は1,671万 m^3 程度（前年見込み比0.3%減）、輸入材は7,168万 m^3 程度（前年見込み比2.2%減）になるものと見通される。

木材（用材）の需給の実績と見通し

（単位：千m³）

年次	需 要					供 給											
	総 数	製材用	合板用	パルプ・チップ用	その他用	総 数	国 産 材			工場残材	輸 入 材						
							総 数	丸太	林地残材		総 数	丸太	製材	合単板	チップ	パルプ	その他
7年	111,921	50,384	14,314	< 6,280 > 44,922	2,301	111,921	22,915	22,897	18	< 6,280 >	89,006	25,865	15,982	6,993	26,411	11,990	1,765
8年	112,325	49,758	15,726	< 6,443 > 43,822	3,018	112,325	22,483	22,469	14	< 6,443 >	89,842	25,126	16,188	8,415	26,361	11,248	2,503
9年	109,901	48,339	15,252	< 6,266 > 43,736	2,574	109,901	21,564	21,551	13	< 6,266 >	88,337	22,966	17,119	8,422	26,406	11,327	2,097
10年	92,056	37,161	11,146	< 6,299 > 42,140	1,609	92,056	19,331	19,316	15	< 6,299 >	72,725	18,597	10,582	6,082	25,721	10,541	1,201
11年	97,810	41,178	13,705	< 6,166 > 40,956	1,970	97,810	18,762	18,737	25	< 6,166 >	79,048	18,787	15,081	8,181	25,295	10,144	1,560
12年	99,260	40,946	13,825	< 6,537 > 42,186	2,303	99,260	18,019	17,987	32	< 6,537 >	81,241	18,018	15,913	8,424	26,661	10,320	1,904
13年	91,245	37,087	13,074	< 6,319 > 38,706	2,377	91,245	16,757	16,722	35	< 6,319 >	74,488	15,942	14,340	8,423	25,104	8,659	2,019
14年	88,125 (96.6)	34,856 (94.0)	13,226 (101.2)	< 7,174 > 37,607 (97.2)	2,436 (102.5)	88,125 (96.6)	16,075 (95.9)	15,980 (95.6)	95 (271.4)	< 7,174 > (113.5)	72,050 (96.7)	14,865 (93.2)	13,694 (95.5)	8,502 (100.9)	24,791 (98.8)	8,101 (93.6)	2,097 (103.9)
15年	87,184 (98.9)	34,766 (99.7)	12,810 (96.9)	< 7,951 > 36,979 (98.3)	2,629 (107.9)	87,184 (98.9)	16,148 (100.5)	16,005 (100.2)	143 (150.5)	< 7,951 > (110.8)	71,036 (98.6)	14,398 (96.9)	14,088 (102.9)	7,897 (92.9)	24,337 (98.2)	8,022 (99.0)	2,294 (109.4)
16年 見込み(案)	90,028 (103.3)	35,287 (101.5)	13,975 (109.1)	< 7,682 > 37,970 (102.7)	2,796 (106.4)	90,028 (103.3)	16,766 (103.8)	16,645 (104.0)	121 (84.6)	< 7,682 > (96.6)	73,262 (103.1)	14,334 (99.6)	14,492 (102.9)	8,586 (108.7)	25,101 (103.1)	8,293 (103.4)	2,456 (107.1)
17年 見通し(案)	88,395 (98.2)	33,899 (96.1)	13,446 (96.2)	< 7,468 > 38,095 (100.3)	2,955 (105.7)	88,395 (98.2)	16,713 (99.7)	16,592 (99.7)	121 (100.0)	< 7,468 > (97.2)	71,682 (97.8)	13,200 (92.1)	14,036 (96.9)	8,316 (96.9)	25,176 (100.3)	8,326 (100.4)	2,628 (107.0)

資料：平成7年～平成15年は林野庁「木材需給表」。

- 注： 1．輸入材のうち、製材、合単板、チップ、パルプ及びその他は、丸太換算材積である。
 2．本表には薪炭材及びしいたけ原木を含まない。
 3．輸入の構造用集成材は需要のその他用、供給のその他に含まれている。
 4．< >内は、工場残材及び解体材・廃材を利用した木材チップの需要量(供給量)であり、製材用等に丸太換算して含まれているため外書きとした。
 5．()内は、前年比(%)である。
 6．数値の合計値は、四捨五入のため一致しない場合がある。